

インターネットモニターアンケート結果

1 回答者

合計 91人

性別 男性43人 女性48人

年代 20代4人 30代13人 40代31人 50代14人 60代13人 70代以上16人

2 紙面で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面「小規模特認校 玉川小学校」 45人

2・3面「深まる 広がる コミュニティ・スクール」
「教育長コラム みらいの種」「イチオン政策」 22人

4面「エデュナビフェイス」「おうちで給食レシピ」
「数字で見るあつぎの教育」「親子のための耳よりインフォ」 24人

3 興味を持った具体的な理由をお聞かせください。

【1面】

- ・玉川小学校の辺りはたしかに人家も少なさそうなので児童も少なさそうです。そんな中、イキイキしている子供たちの写真が良いと思いました。
- ・玉川小に越境入学している子が近所にいるから。
- ・小規模でも大きな取り組みをしているので、すごいですね。応援したいです。
- ・身近な学校がこのような重要な取り組みを行っていることに興味を持ちました。
- ・少子化で児童数が少ないというのは知っていましたが、厚木市内にも小規模の学校がある事は知りませんでした。
- ・玉川小学校の自然の素晴しさは、知っていたが、小規模特認校という事は、知らなかったから。
- ・小規模学校にも関わらず、色んな体験授業があったりして他校よりも興味深く感じた。
- ・独特の教育環境が興味深かった。
- ・小規模特認校というものを初めて知りました。
- ・知り合いの子供が玉川小学校に通っていたため。
- ・近くにある小学校なので。
- ・広報紙同様に子供達の表情が素敵でした。
- ・こういうことがあるのを知った。
- ・よくそばを自転車で通るので、記事を見て親しみが持てたので。
- ・近所ではないが、よくそばを自転車で通り親近感があるので
- ・玉川小学校の生徒さんのいきいきとした姿が伝わってきました。
- ・子育てしていないとイメージがつかない。
- ・小学生に戻れるなら、行ってみたい。素敵な環境。
- ・玉川小学校は妻の母校なので、どんな取り組みなのか知りたいと思った。

- ・目指す、あるべき、教育環境のように思います。少子化に逆行と言われるかも知れませんが、小学校の増設を考えても良いように思います。
- ・友達の母校だから。
- ・ユニークな理想の教育環境
- ・玉小の活動、廃校と比較したら地域住民からはどう見られているのか。
- ・来年、娘が小学生なので。
- ・玉川小学校でのびのびと学ぶことができることを知りました。
- ・児童数が少ない分、魅力的な学びができるので、子どもたちにとって素晴らしい経験がたくさん出来そう。
- ・自由があっていいなあ。でも、うちには生活の余裕がないので、通わすのは難しい。その辺はどうにかならないかなー。
- ・必要性に疑問。
- ・生き生きした生徒の様子が手に取る様に分かりました。
- ・小規模な小学校で、元気よく運動や勉強に励んでいる素敵な姿が紙面から感じられました。この学校では、今問題となっている「いじめ」などが無い素敵な小学校であると思います。
- ・玉川小学校が小規模特例校であることは知っていたが、記事として読めておもしろかった。
- ・小規模特認校というものを初めて知った。
- ・この制度は、非常に良いと思いますが、登下校とそれに伴う時間の使い方について、実際に通われているかたのヒアリングがあれば良いと思います。
- ・小規模特認校、興味深いです。多方面の取り組みがあり、子供達は楽しそうです。我が子は、この様な取り組みに全く興味がない子供でした。その様な子供にも目を向けて欲しいと思いました。
- ・小規模の魅力を感じました。
- ・自分が、割と自然の多い小学校時代をすごして、幸せだったと感じているから。
- ・特色ある内容で素晴らしいと思います。通われている方の評価をもっと知りたいと思いました。
- ・小規模特認校としてスタートした玉川小学校、教育分野での挑戦的、野心的な社会実験だと理解しています。順調にスタートされているようですね。これからも、この小学校で学んだ生徒たちがどのように成長していくか見守っていきたいと思います。
- ・近くの小学校なので、興味が湧いた。
- ・少人数ならではの先生と生徒の距離の近さがとてもいいと思いました。
- ・自然の中、少人数で楽しく学べる環境はすばらしいと思います。
- ・玉川小学校が、小規模特認校に認定され、特別措置として通学区域外からの就学を認めているという事を、初めて知りました。小学校の紹介をみますと、興味深い点が多々あります。多く児童が就学すれば良いと思います。
- ・厚木も人口減少、過疎化が他人事ではないと実感させられました。

【2・3面】

- ・実際の学校で地域とどのように関わっているか、良くわかり、学校と地域、家庭の連携の必要性をより考える良い機会になった。

・CSによる教育環境の充実。昨年6月に全市立小・中学校に導入されたとのこと、素晴らしいことだと思う。更なる充実を期待。

- ・コミュニティ・スクールで様々なことを学べることがわかった。
- ・学校の地域社会での役割はどうあるべきか、教諭と外部講師・運営の面から関心を持っていた。
- ・最近では、ゲームやネットでコミュニケーションをとる人が多くなってきたので、コミュニティ・スクールなど、実際に会って体験することは、とてもいいと思います。
- ・子供達への活動が多く行われていることが素晴らしいです。
- ・コミュニティ・スクールの意味がずっとよく分からなかったから。
- ・地域のコミュニティ活動は、子供と大人のコミュニケーションに大変役立つ活動だと思うし、自分でも出来る色々な活動があることを知りました。
- ・自分の子どもの学校での活動をもっと知りたい。同じ学校ばかりでなく、全ての学校の活動をとりあげてほしい。
- ・なかなか学校での活動は見えにくい。学校が、開かれた場所であってほしい。
- ・子供達へ、安心安全を届ける活動の大切さを伝える情報紙だと考えると、シニア世代にも支援できることがあることを知りました。
- ・私も放課後子ども教室で子供達のサポートをボランティアでしていますが、このコミュニティ・スクールの活動が広がることを期待したい。
- ・各取り組みが具体的に紹介されており、とても分かり易かったから。
- ・学校と地元地域との交流は大切。学カステップアップ支援員をしていて先生の忙しさがわかるので、今いる林中でもコミュニティ・スクールの活動が充実すると良いと思います。
- ・コミュニティ・スクールに興味があったので、活動の様子がよく分かった。
- ・森の里小や依知南小の取り組みが分かりやすく良いと思いました。先生方の負担も軽減されてくれると嬉しいです。他校のコミュニティ・スクールの取り組みも是非紹介してほしいです。
- ・教育現場と家庭との分担が分かりました。もっともっとコミュニティ・スクールが浸透して欲しい。
- ・学校と地域が協働して教育環境を充実させる取り組み。こんなにたくさんの人に支えられているんだと改めて思いました。とてもありがたい取り組み。これからも更にこの取り組みが充実することを願っています。
- ・和式トイレの洋式化が進んでいることを知り、安心しました。

【4面】

- ・給食のレシピがいいなと思いました。PTAは大事だけども手も少なく争いの元にもなるので、何かいい方法はないかと読んで思いました。
- ・子供に給食のおかずを作ってと度々せがまれたことがあります。味が再現できず困るので、レシピは連載化して載せて欲しいぐらいです。
- ・レシピを見て真似したくなりました。
- ・自宅で給食を味わえるから
- ・自分の置かれている状況に関係ないものなのですが、給食レシピだけは参考にできるので。
- ・家での食事に参考になるので。

- ・給食レシピの夏そばろ、体に良さそうなメニューですね。
- ・給食のレシピを見たのは初めてで、参考にしようと思ったから。
- ・「夏そばろ」を作ってみたいです。子供は苦味のあるゴーヤは苦手なので、庭で育ったゴーヤを持って余し気味でした。でも、このようにすれば食べやすいと知り、助かりました。
- ・給食の味を再現できるのは興味があります。
- ・おうちで給食レシピはやってみたいような気もする。
- ・夏そばろを作ってみました、子供たちが食べている給食を共有できて良かったです。
- ・おうちで給食レシピが良かったです。
- ・おうちで給食レシピは、こんな品を食べているんだなということもわかりますし、実際に作ってみようと参考になります。
- ・給食を食べる機会が無いため、レシピは参考になる。
- ・おうちで給食レシピは、ぜひ参考にさせていただこうと思います。
- ・自分は子育てを終え、息子がまだ結婚をしていないので、どうしても子供の教育問題への関心が薄れがちだが、今の学校が多くの問題を抱えている事はTV等や、人の話からよく聞くことです。子どもの教育は学校だけでなく、コミュニティみんなで協力していくことが大事、そのうえで、給食に何を食べているのかとか、身近なところから関心を持っていきたいと思っています。
- ・厚木市に36の村があった、という豆知識、楽しく読ませていただきました。また、給食レシピも興味を持ちました。家でも作れそうですね。
- ・村に興味があります。
- ・学校で教える(教えない)郷土の歴史について、ミニ知識を載せていただけることは、大人にとっても子供にとっても郷土に対する愛着に結び付くので、意義深いと思います。
- ・厚木は交通の要所というのは知っていましたが掘り下げて解説されているのが面白いです。
- ・分からない。
- ・特になし。
- ・スママセン、子供いないので興味は持てませんでした。

3 コミュニティ・スクールの活動について特集しましたが、地域と学校がさらに協働して活動していくには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・日頃の意見交換。
- ・現場の声が第一優先だと思います。実際にどんなことが問題で言いづらいとか、ここまではそれぞれお願いしたいとか生の声を吸い上げることによって、よりよい改善案ができるのだと思います。
- ・自分もそうですが、退職世代の活動参加を考えて欲しいと思います。特に、「きっかけ」作りを期待したい。
- ・連絡を密に取り、それぞれの立場を理解して進めて行くことが必要だと思う。
- ・地域と学校が繋がるのが大切と思いました。
- ・環境の整備がもっと必要です。
- ・地域の人がみんなで支え合う。
- ・いいことだが学校の下請けになっていないか。塾やスイミングクラブなどの民活も必要ではな

いのか。

- ・地域のイベントなどに子どもたちが運営などの手伝いで参加するボランティアがあると良いと思いました。
- ・お互いにあまり負担にならないような活動。
- ・子供たちに学校の地域の歴史や自然を知ってもらってもっと身近に感じてもらうことが必要だと思う。
- ・広報活動を推進する。
- ・地域が学校に日頃から興味を持つ。
- ・交流の場や機会をいろいろな形で増やすこと。
- ・お年寄りや引退した人にもっと参加してもらう。小学校と中学校、幼稚園、高校、大学生、老人ホームなど 縦のつながりをもっと持つ活動を増やす。顔見知りを増やす。人とのつながりを増やす。
- ・互いに協力。
- ・誰もが参加しやすい設定。対面会議のみでなく、SNSを通じた交流。
- ・地域の人たちの温かい協力が必要だと思います。
- ・まめに連絡を取り合えばいいのではないのでしょうか。
- ・近所の大人お年寄りたちの話に耳を傾け、子供たちの意見も合わせて、コミュニケーションをとっていくことが大切だと思います。
- ・シニアの活用を推進していけば良いと思います。責任感とやりがいのためボランティアを無償ではなく有償とし、コーディネータも期限を設けるべきだと思います。無償ボランティアに依存する業務は極論ですが廃止するくらいの気持ちでなければ、学校現場の仕事は増えるばかりだと思います。
- ・地域の大人たちの協力が不可欠だと思います。こどもの見守りなど。
- ・オープンスクールの実施や学校行事で地域と繋がるイベントがあれば良いと思います。
- ・個人情報や安全など様々な課題は有ると思いますが、学校側が地域に対して開かれることが必要だと思います。
- ・お祭りなどで仲良くなっていければいいと思います。
- ・相互に触れ合う機会を多く作ることが大事だと思います。地域の活動、行事に参加すること等。
- ・視野を広げていけるよう、地域の活動にクラブ活動のように参加できると良いです。
- ・学校からだけではなく、このように厚木市の問題として、広報誌などで、広く知らせていくことが大切だと思う。
- ・子供を子供扱いせず、大人も子供も一緒に社会生活に何が必要か話し合う良い活動だと思いました。
- ・特になし。
- ・自治会などからも活動の協力を要請する。
- ・ボランティア精神溢れる大人が必要。子供達に無償で心も労働力も提供出来る人が必要。
- ・情報をたくさんの人に知ってもらえる必要があると思います。
- ・地元の公園の美化清掃などを子どもたちと一緒にやればよいと思う。
- ・学校のイベント（運動会や文化祭など）に地域の人達が参加できるようにすればいいのでは。

- ・ボランティア精神に頼っていくのでは、限界があるのでは。少しでも謝礼、賃金が発生すれば、積極的に参加する人も増えると思う。
- ・広報活動が必要。
- ・なかなか難しいと思います。
- ・CS活動は、子供の健やかな成長を支えるためには、大切な取り組みであると思います。
- ・良い取り組みだと思う。私が子供の頃もあるとよいと思ったが、当時はここまで社会が複雑というかおかしくなかった。
- ・活動に関するたくさんの「情報」が必要だと思います。
- ・目的と課題の明確化。
- ・地域と学校をつなぐものがもっと気軽にあるといいと思う。何かの活動をしている一部の積極的な人しか結局かわれなれないと思う。
- ・学校区に拘らず、広範囲の方々に参加活動して頂けたらいいなと思いました。
- ・地域の活動にもっと参加するようにしてほしい。地域の活動を学校でお知らせしてほしい。また、活動に対して、専門家の方がアドバイスしたり、相談できる場所があると良いのではないだろうか。
- ・学校も、問題点をオープンにしてほしい。
- ・まずは大人のほうから子供たち投げかけるのが第1歩だと思います。
- ・親が、無理難題を持ち出さないことです。
- ・SNSなどのツールを使って、活動内容の情報発信をもっと積極的に。
- ・活動に協力していくために、何時、何処で、誰が何を必要としているのか、連絡先等の情報が分かれば更に良いと思いました。
- ・地域コミュニティの活性化。地域内での繋がりが薄れているので、まずはその繋がりを強化していく事が大切だと思います。
- ・ボランティア活動の輪を広げていきたい。
- ・双方が多忙な状況におかれているとは思いますが、あらゆる方法で積極的に取り組みを紹介し、多くの方が自然と興味を持つような環境を作り出すこと。
- ・なし。
- ・いろんな世代の方に参加を働きかけること。
- ・運営に関わる人が一部に偏り過ぎないようにすると、活動の範囲も広がると思う。
- ・母親が専業主婦などの余裕があれば子供の幅も広がると思う。片方の親だけでも生活していける稼ぎがないとどうにもならないものだと思う。
- ・特になし。
- ・保護者と教師だけではなく、地域にも寄り添った活動が大切だと思います。多様なイベント等を通じてコミュニケーションを図り、学校行事だけではなく季節毎のイベントはどうでしょうか。
- ・あまりにも、テーマを多く記載したため、内容が希薄になっています。もっと、ポイントを選択して、何回かに分けて記事にしたほうが良いと思いました。
- ・学校側の情報公開、協力依頼時の適切な依頼方法等（義務・命令でなく）。
- ・地域住民が安定した生活を送れていること。
- ・すぐにやめずに、ずっと今のような活動を続けて、当たり前のように多くの方が知っていけば

いいです。

- ・子どものいない世帯に対しての広報。
- ・最近はおも親とも働きに出て、昼間は、子供だけが学区内にいる、という状況はあまり良くないと思いますが、このような現代社会に対応したPTAの在り方に変えていく必要があると思います。それに、地域の住民と連携するというのは良い考え方だと思います。地域で支えていく新しい協働活動の方法が見つかるとう良いと思います。
- ・なかなか難しいとは思いますが、顔を合せての話し合いだと思います。
- ・自治会・子供会とのコミュニケーションが大事ではないかと。
- ・地域や保護者側への周知・理解する手段がキーではないかと。やらされ感のない魅力的な活動を。
- ・ボランティアの負担を軽減できれば、長く継続できるのではないかと考えます。
- ・つながり。
- ・地域に根ざした活動にするため寺社の方々やリタイヤされている先輩の方々にも奮っていただき、子どもたちに故郷を愛する気持ちを知ってもらうことが必要だと思います。
- ・分からない。
- ・学校と地域の間でのニーズとシーズをコーディネートする活動が一番大切だと思います。
- ・学校は閉鎖的だと言われることが多いので、オープンな場にする必要があると思います。学校と地域をつなぐ役割をする人がいるとういいなと思います。先生方は学校のことで忙しく中々外に目を向けるのが難しいので、そんな先生方に変わって学校でのニーズを知り、地域の人材を確保する人が必要だと思います。
- ・教育現場と家庭との交流。また、意見交換も必要と感じました。
- ・地域イベントと学校行事がコラボできたらと思う。ただし、安全面、費用面等、課題解決が必要な部分があって、なかなか難しいと思いますが。
- ・給食設備のある学校で、地域との交流を図るために、住民と一緒に給食を食べる日を設けてはと思う。老人が増えて、生徒と交流する機会が無いので。
- ・分かりません。
- ・学校で何が必要で、どういうことに協力できるのか、その情報をわかりやすくして欲しいです。
- ・教育分野に全くの素人が意見を述べるのは難しいことです。コミュニティ・スクールの制度がスタートして15年位経過しており、この取り組みに参加している学校数も増加しています。有識者、関係者の方々に、当該制度のメリット、デメリットを分析、検証し、改善点等について議論をされたらどうかと思います。
- ・高齢者が小学校で活躍する場を設ける。
- ・子どもと先生の遊び授業とかできたら楽しそうですね。
- ・特にない。
- ・ボランティアに応募したいと思いますが、募集内容や、どんな活動したら貢献できるのか、わかりやすく説明して欲しいと思います。
- ・地域の方と子ども達がお互いの顔を覚えられるように地域の方が学校に来られる機会を増やす。
- ・記事を読んでいると、メニューとしては、十分な気がします。開催回数の頻度は、記事からはわかりませんが、開催回数を増やす、協力する地域参加人数を増やしていく視点が必要かなと思

いました。

・コミュニティ・スクールを行うことで、学校側がかえって忙しくなってしまうことは避けたい。本当に必要としていることを、じっくり掘り下げて行っていくために、NPO法人などが間に入って、見極めて分担を決めていくようにできたら良いのではないかと。

・特に意見ありません。

・地域の住民に、その地域の小・中学校が具体的にどのような活動をしているのかを、学校運営協議会が発信し、ボランティア等のサポートが必要であれば具体的に依頼する事をやってみるのは、如何でしょうか。

・職場体験学習などを通じて、市内の大人と触れ合っていけばいいかと思う。真(社会で)に使える勉強、教育の場として社会人の方々の公演や実習をやった方がいいと思います。

4 今回の教育委員会だより「Edu Navi」について、意見、感想があればお聞かせください。

・現在の小学校の様子などが新鮮。

・教育の声は当事者以外なかなか入ってこないの、どんどん掲載してほしいです。また、近隣市町村ではどんな取り組みがあるのかも参考にすることができれば、どれが厚木にマッチするのか検討できるのではないかと思います。

・良い情報誌だと思います。次号も楽しみにしています。

・教育委員会だよりの発行は、とても良い取り組みだと思う。

・教育委員会の硬いイメージを払拭してほしい。

・わかりません。

・なし。

・教育委員会委員の教育やいじめに対する信条が見えないので紹介してほしい。

・色々な人の意見を見られるので、我が家には子供はいませんが、現在の教育について知ることができるので、ためになります。

・当市の教育への前向きな取り組みが良く分かった。

・そもそも、エデュナビを知りませんでした。

・どんどん少子化が進んでいる。今後、学校はどうなっていくのだろうか。各学校、地域の不安、課題解消の手助けとなるような、記事をのせてほしい。

・役立つ情報が多かった

・自分には関係ないものなので、モニターでないと読まないと思う。少しでも関係する内容か、興味を持てる内容があればと思う。

・もっと教育に力を入れるべき。将来の厚木市、神奈川県、日本のために。いじめ自殺多すぎ。あなたのこと大切に思っているよってメッセージをもっともっと増やしていかないといけない。教育現場の人数確保が大事。ただ一緒にいるだけ、話しを聞くだけ、一緒に遊んだり何か活動をするだけで子供は落ち着く。

・特になし。

・わかりやすかった。課題については、まず周知が必要だと思うので、親しみやすい紙面は効果的だった。

- ・子どもがいるのでとてもためになります。年に1回ぐらいの発行でいいのではないですか。
- ・とても共感できるので、今後も継続して やってほしいと思います。
- ・玉川小学校の特色を読んで、小さな学校も魅力的だと思いました。
- ・「エデュナビ」は、小学校が記事の対象となっていますが、中学校や高校（厚木市立では有りませんが）、大学なども特集してほしいです。
- ・玉川小学校の様な学校では、先生の目も行き届くので勉強に遅れることがないでしょうからいいと思いました。
- ・今回は玉川小学校を紹介いただきましたが、厚木市にはたくさんの小学校があり、それぞれ、特色があると思います。それを紹介いただくと、学校が我々にとってより身近になり、意識もそこにいきます。自分が関わっていないと、学校への関心はどうしても希薄になります。自分の子供たちや孫が学校に行っていないなくても関心を持ち続け、未来につなぐ子供たちを皆で慈しみ育てていきたいと思います。
- ・学校任せではない活動がお子様方にはとても良い思い出となり、地域にも還元されると思います。
- ・Edu Navi の取り組みはとても興味深い。これからも続けてほしい。
- ・高齢者が地域などで組織的に役立つ行動が出来る社会が必要になってほしいと思いました。
- ・子どもがいない家庭でも情報を得ることが出来て有益であると感じているため、発行を続けて欲しい。
- ・広報に挟んである事で読むきっかけになり、良かったです
- ・かけこみポイントのマークが掲げられている家を時々見かけていたので、子供たちのためのものだと判りました。
- ・給食レシピ、面白い記事でした。
- ・読みやすい編集をしてください。エデュナビなんて難しい言葉を使わないこと。
- ・教育委員会でこのような発信をしているということ、たくさんの方に見てもらいたいと思いました。
- ・学校と地域で子供たち参加型のたくさんの活動を企画して頂きたい。
- ・毎回メッセージ性があって良いと思う。
- ・いつも楽しみです。
- ・正直なところ、エデュナビが市民に有効な情報提供かどうか疑問です。私の世代はともかく、40歳未満の方はあまり新聞を紙面で読みません。簡単ではありませんが、メディアとしての有効性も検討してはいかがでしょうか。
- ・学校に関する情報発信は、とても大切だと感じました。
- ・各学校の具体的な取り組みを載せてほしい。いつも、同じ学校にならないでほしい。
- ・当たよりがよりよい教育の指針になればよいと思っています。
- ・この方針で良いのではと思います。
- ・4ページの限られたスペースの中で、余白のあまりない紙面であるが、しっかり情報を伝えようとしているのが分かる。今回は網羅的な紹介なので、次からはポイント絞った発信を継続してくれたら良いと思う。
- ・教育委員会だよりも広報と一緒に配布されているのでしょうか。広報しか知らなかったので、

今回のアンケートでしっかり読むことができました。

- ・CS活動の様子がよく分かる内容となっています。
- ・その他記事もですが、メールマガジン等で定期的に配信して、バックナンバーが探しやすい方が有り難いです。
- ・毎回市内の小中学校の活動内容をリレー方式で紹介してほしい。
- ・一見難しい話題と思われる内容も、とても分かり易く紹介されており、知らなかったことも知ることが出来て良かった。
- ・PTA連絡会協議会会長のお話で、現在のPTA活動の現状がよく分かりました。
- ・ゴーヤを使った給食レシピが美味しそうだった。
- ・よかった。
- ・玉川小学校のことや防犯のことなども、気になる話題が多かった。玉川小学校にスクールバスがないとよそからは通いづらいと思う。
- ・特になし
- ・生徒の地域貢献活動は大切で、ボランティア活動に役立つと思います。地域に協力することで住民からも認められ、声かけ運動にもつながり、子供達の通学の安全にもつながると思います。
- ・教育委員会だよりの紙面にレシピは、必要かどうか疑問です。というのは、あまりにも目いっぱいな内容が多すぎます。ポイントをもっと選択して記事にしたほうが良いと思いました。
- ・カラー印刷で、見応えがあった。さまざまな取り組みが知れて良かった。
- ・厚木全体がこのまま活動が続くといいです。
- ・『コミュニティ・スクール』と『CS活動』の違いがよくわからない構成だった。(『CS活動』は『コミュニティ・スクール』の一部なのか、別の活動なのか)
- ・あゆコロちゃんも厚木市の愛されるキャラクターなので、市の子どもたちへの啓もう活動にはもっと利用してもよいと思います。
- ・特にありません。
- ・なかなか、我が子の通う情報がないと心待ちにしております。
- ・今後も密な情報提供に期待しております。
- ・これって何の数字？ちょっとした豆知識で面白いです。
- ・もっと詳しく知りたいです。
- ・個人的に興味深かったのが学校のトイレの改修です。やはりトイレはきれいな方が気持ちいいです。
- ・分からない。
- ・小規模特認校の授業内容や特色ある活動が分かって良かったです。
- ・エデュナビを是非毎月発信して、もっと教育のことを知りたいです。
- ・新聞とダブらず厚木市に特化した題材をこれからもお願いしたい。
- ・特に無し。
- ・昔の厚木の村は興味深く読ませてもらった。昔からの変化を、継続的に知らせてほしい。
- ・分かりません。
- ・核家族化が進む中、親世代が教えられないことを、地域の祖父母世代が教え、それが世代を超えたお互いの交流や協力に繋がっていけばいいと思います。

・今回の Edu Navi に限らないですが、新しく変化していく教育の世界の情報が伝えられていて、良く学ばせてもらっています。貴重な情報誌であると評価しています。

・特になし。

・これからも楽しみにしています。

・公民館の活動ももっと載せて下さい。

・厚木市の学校で取り組んでいることについて、その内容を分かりやすく詳しく紹介していて良い。カラーで見やすい。

・防犯ブザーは、市が全児童と希望する生徒に配布と説明があるが、中学生も希望すれば、配布されるということなのではないでしょうか。あまり知られていない情報のように思います。中学生にお知らせしてほしいと思いました。

・おうちで給食レシピ、楽しみにしている。

・ゴーヤ入りのそばろ、栄養あるし簡単そうなので作りたい。

・特に意見ありません。

・近年、子供が巻き込まれる事件が増加していますので、今回の防犯ブザーについての記事は、大変良かったと思います。地域の「かけこみポイント」についても何らかの方法で、親御さん、子供達に周知させておくことも必要かと思います。

・不定期に広報紙に入っているので、もっと頻度を増やしても良いかと思う。

・今後の厚木の教育方針を載せて欲しいです。